

- 工事申告は書類NO.3100 充電設備等設置工事申告の「作成」ボタンより申告できます。
- 「作成」ボタンを押すためには以下の2つの書類が「登録済」となっている必要があります。
書類NO.6900 会社別請求書一覧、書類NO.3000 充電設備情報

【V2H】実績報告申請一覧

管理NO

V60311

申請者名

〇〇株式会社 日本橋支店

設置場所区分

公共施設・災害拠点

申請者区分

法人（マンション管理組合法人を含む）

設置場所名称

災害拠点

V2H補助金実績申請額

50,000

V2H設置工事補助金実績申請額

0

V2H設置に係る補助金実績申請額（合計）

50,000

※なお、資本関係のある会社から調達を受ける場合、補助金申請額より利益相当額を排除します。

※上記申請額は実績の入力情報を基に算出された金額です。交付決定額を上限とした見込額は右の『見込額確認』ボタンより確認してください。

見込額確認

連絡事項

書類一覧

上から順に入力、確定してください。

検索結果：12 件

書類NO	書類名称	補足説明	状態	編集	帳票	受付結果
6900	会社別請求書一覧	見積書を提出した会社全ての請求書を準備して入力	登録済	作成	確認	
3000	V2H充放電設備情報	書類NO.3100を「確定」後に、再度「確定」ボタンを押すと、書類NO.3100を再度確認し、「確定」をする必要がある。	登録済	作成	確認	
3100	V2H充放電設備等設置工事申告	工事費用と工事内容の申告 書類NO.6900／NO.3000の「確定」後に入力可能		作成	確認	
6700	実績日			作成	確認	

戻る

申請

①「作成」を押してください。

【V2H】(実績時)V2H充放電設備等設置工事申告(公共施設/災害拠点)

管理NOV60311

設置場所名称災害拠点

入力額の確認

a

	金額	説明
①請求総額	10,000,000	【6900:会社別請求書一覧】で入力した総額が表示されます。
②V2H充放電設備請求総額	100,000	【3000:V2H充放電設備情報】で入力した購入価格の総額(購入価格*基数)が表示されます。
③工事請求総額	9,900,000	①請求総額-②V2H充放電設備請求総額(③=①-②)の値が計算され表示されます
④工事申告額	0	本ページで入力した申告額の合計が計算されます。(一時保存もしくは確定ボタンを押した時)
⑤他の工事額	9,900,000	③工事請求総額-④工事申告額(⑤=③-④)の値が計算され表示されます。

※⑤他の工事額の結果がマイナスの場合、確定はできません。

工事実績について

■工事実績の申告について

・初回各画面のデータは交付時に申告したデータがコピーされています。各画面にて内容を確認し、操作を行ってください。

・交付時から変更がない場合は基本的に工事項目毎に申告額の確認、工事内容の申告を確定させる動作を繰り返します。(各作成ボタンから入り、確定ボタンを押す。)

・工事内容に変更がある場合は、変更に応じた内容を申告してください。但し、工事内容の変更については事前に計画変更の届けが必要です。

■各欄の説明「状態、交付申告、交付時申告(確認ボタン)」

・状態欄は実績申告の状態を表します。登録済、登録中、(空欄)があります。

・交付申告欄に「○」があるものについては交付時に工事の申告(申告額、工事内容)を行ったものです。

・交付時申告の確認ボタンを押すと交付時の工事内容の申告の確認ができます。

工事申告の入力について

V2H充放電設備の本体付属品、オプション品についてセンターホームページで確認の上、申告してください。確認ページはこちら

b

c

d

e

f

g

h

(1)V2H充放電設備工事費						
①V2H充放電設備設置工事費	記号	申告額(A1~A2) 税抜	工事内容の申告	状態	交付申告	交付時工事内容
ア. 基礎・据付工事費	A1	0	作成	登録中	○	確認
イ. 搬入・運搬費	A2	0	作成		—	確認
(1)V2H充放電設備工事費						
②電気配線工事費	記号	申告額(A3) 税抜	工事内容の申告	状態	交付申告	交付時工事内容
電気配線工事費			作成	登録中	○	確認
配管工事費			作成		—	確認
ブレーカー・切替開閉器設置工事費			作成		—	確認
開閉器盤設置工事費			作成		—	確認
据割・埋設工事費			作成		—	確認
建柱工事費			作成		—	確認
ハンドホール設置工事費			作成		—	確認
工事費合計	A3	0				

a.入力金額の確認

以下の3項で入力した内容が計算され、表示されます。

1:書類NO.6900 会社別請求書一覧

2:書類NO.3000 V2H充放電設備情報

3:本画面の申請額

※本画面の「一時保存」または「確定」を押すと再計算されます。

b.工事項目名

申告できる工事項目名。

c.記号

各工事項目ごとの計上項目先番号。

d.申告額

申告する工事金額の入力。

交付申請時の申告額が入力されています。

変更する場合は、正しい金額に修正してください。

e.工事内容の申告

行った工事を「作成」から申告してください。

交付申請時に申告している場合は、交付申請時の登録内容が反映されているため、内容を確認してください。

※対象外の項目は「作成」が押せません。

f.状態

工事項目ごとの状態を表示します。

★登録中:交付申請時に登録している項目または一時保存

★登録済:工事内容を確定した項目

★—:対象外の項目

★空欄:交付申請時に未登録の項目

g.交付申告

交付申請時の申告状況。

★○:交付申請時に申告有の項目

★—:交付申請時に申告無の項目

h.交付時工事内容

「確認」を押すと、交付申請時の内容が確認できます。

※「確認」が押せない項目は交付申請時に未登録の項目です。

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center

【V2H】（実績時）V2H充放電設備等設置工事申告（公共施設／災害拠点）

管理NO

V60311

設置場所名称

災害拠点

入力額の確認

	金額	説明
①請求総額	10,000,000	【6900:会社別請求書一覧】で入力した総額が表示されます。
②V2H充放電設備請求総額	100,000	【3000:V2H充放電設備情報】で入力した購入価格の総額（購入価格×基数）が表示されます。
③工事請求総額	9,900,000	①請求総額－②V2H充放電設備請求総額（③＝①－②）の値が計算され表示されます
④工事申告額	0	本ページで入力した申告額の合計が計算されます。（一時保存もしくは確定ボタンを押した時）
⑤他の工事額	9,900,000	③工事請求総額－④工事申告額（⑤＝③－④）の値が計算され表示されます。

※⑤他の工事額の結果がマイナスの場合、確定はできません。

工事実績について

■工事実績の申告について

・初回各画面のデータは交付時に申告したデータがコピーされています。各画面にて内容を確認し、操作を行ってください。

・交付時から変更がない場合は基本的に工事項目毎に申告額の確認、工事内容の申告を確定させる動作を繰り返します。（各作成ボタンから入り、確定ボタンを押す。）

・工事内容に変更がある場合は、変更に応じた内容を申告してください。但し、工事内容の変更については事前に計画変更の届けが必要です。

■各欄の説明「状態、交付申告、交付時申告(確認ボタン)」

・状態欄は実績申告の状態を表します。登録済、登録中、（空欄）があります。

・交付申告欄に「○」があるものについては交付時に工事の申告（申告額、工事内容）を行ったものです。

・交付時申告の確認ボタンを押すと交付時の工事内容の申告の確認ができます。

工事申告の入力について

V2H充放電設備の本体付属品、オプション品についてセンターホームページで確認の上、申告してください。確認ページは[こちら](#)

(1)V2H充放電設備工事費

①V2H充放電設備設置工事費	記号	申告額(A1～A2) 税抜	工事内容の申告	状態	交付申告	交付時工事内容
ア．基礎・据付工事費	A1	0	作成	登録中	○	確認
イ．搬入・運搬費	A2	0	作成		—	確認

(1)V2H充放電設備工事費

②電気配線工事費	記号	申告額(A3) 税抜	工事内容の申告	状態	交付申告	交付時工事内容
電気配線工事費			作成	登録中	○	確認
配管工事費			作成		—	確認
ブレーカー・切替開閉器設置工事費			作成		—	確認
開閉器設置工事費			作成		—	確認
振動・埋設工事費			作成		—	確認
建柱工事費			作成		—	確認
ハンドホール設置工事費			作成		—	確認
工事費合計	A3	0				

2

申告額の確認

交付申請時の申告額が表示されていますので、変更がある場合は修正してください。

3

工事内容の申告の確認

交付申請時に申告している項目は「登録中」となっています。
「作成」を押し、申告内容に変更がないか確認してください。

※詳しくは次ページへ

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center

【V2H】(実績時)基礎・据付工事

管理NO

V60311

設置場所名称

災害拠点

基礎・据付工事の申告

※必須項目：充電設備等を固定する基礎・据付工事を申告してください。基礎工事が無い場合は『アンカーのみ』または『ビス等で固定』を選択して申告してください。

設備情報

設置する設備種類 *

設置する設備種類(充電設備本体、課金機等)を入力してください。(50字まで)

基礎・据付工事の申告 *

☐簡易基礎(置き基礎)

☐その他基礎

☐アンカーのみ

☐ビス等で固定

☐基礎ブロック(2列タイプ)

☐基礎ブロック(フラットタイプ)

☐コンクリート現場打ち

☐金属架台(支柱・ポール)

簡易基礎の種類

基礎の種類を選択してください。

その他基礎の種類

その他基礎の種類を選択してください。

基礎種類

基礎種類で『コンクリート現場打ち』を選択した場合は、該当項目を選択してください。

基礎サイズ・数量

たて(単位:mm)

サイズ(たて)を(mm)単位で入力してください。

よこ(単位:mm)

サイズ(よこ)を(mm)単位で入力してください。

ふかき(単位:mm)

サイズ(ふかき)を(mm)単位で入力してください。

数量

基礎の個数を入力してください。(アンカーのみ場合は使用する本数を入力してください。)

工事申請額の算定

☒有

設置工事補助金申請額に含めない場合はチェックを外してください。(50字まで)

備考

※追加ボタンを押して下表に登録。下部の確定ボタンで確定されます。

追加

検索結果：1件

基礎種類	配筋種類	たて (単位: mm)	よこ (単位: mm)	ふかき (単位: mm)	数量	工事申請 額の算定	設備種類	備考
ビス等で固定						有	充電設備本体	

戻る

一時保存

確定

削除

4

削除

交付申請時の内容が表示されています。
各書類ごとに以下作業を行ってください。

■変更がない場合

6 「確定」を押してください。

■変更がある場合

4 「削除」を押してください。

5 変更後の設備情報を登録し、
「追加」を押してください。

6 変更内容が追加されたら「確定」を
押してください。
確定されると、各工事項目ごとの状態が
「登録済」になります。

画面右下の『赤い削除ボタン』は本画面で登録した工事すべての削除を行います。

交付時に工事申告を行ったが、実際には工事を行なわなかった場合等に使用します。

※赤削除ボタンを押す前に、一度データを登録(一時保存または確定)し、その後に赤い削除ボタンを押してください。

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center

7 工事の確認

補助対象に関わらず、行った工事は「有」、行っていない工事は「無」を選択してください。

※「有」を選択した項目は、施工後要部写真にアップロード項目が表示されます。

8 「確定」を押してください。

※確定後、エラーが表示される場合はメッセージの内容に沿って修正してください。

路面表示の設置の有無は必須です。

【V2H】(実績時)V2H充放電設備等設置工事申告(公共施設/災害拠点)

工事の確認

・路面表示の設置の有無

☐有

☐無

・屋根の設置の有無

☐有

☐無

・小屋の設置の有無

☐有

☐無

・充放電設備防護用部材の設置の有無

☐有

☐無

充電スペース内に路面表示(路面シート、文字)の設置を行った場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

V2H充放電設備等とメンテナンススペースおよび充電スペースを雨等から保護する屋根設置工事を行った場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

V2H充放電設備等を豪雪・火山灰等から保護する小屋設置工事を行った場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

V2H充放電設備等を保護する目的のU字型、I型の防護用部材を設置した場合は「有」にチェックしてください。
上記以外は「無」にチェックしてください。

「申請」ボタン押下し申請すると、入力情報の変更はできません。間違えないことを確認してください。
工事施工会社アカウントでログインしている場合は「一時保存」ボタンしか押せません。入力後、申請者に確認を依頼し、「確定」ボタンを押してもらうようにしてください。

戻る

一時保存

確定

8

©2009 Next Generation Vehicle Promotion Center